

発行

岡崎市子ども会育成者連絡協議会

岡崎市子ども会安全会

岡崎市十王町2丁目9番地

岡崎市青少年女性課内

電話 (0564) 23-6221

発行責任者

西川純一

岡子連だより

第30回 岡崎こどもまつり
 作った、乗った、遊んだ
 体験したまつり!

第30回岡崎こどもまつりが、4月27日、乙川殿橋下流河川敷一帯で開催されました。

当日は朝から快晴で、5万人の親子、子ども達が参加して、ゴールデンウィークの一日を楽しみました。

当日のコナーは25種類で、ワイワイ広場・ドキドキ広場・ニコニコ広場・ワクワク広場に分けてコナーを催しました。会場に訪れた親子や子ども達に普段では体験出来ない、コナーが沢山有り、紙でつぼう・おじゃみ・お面づくりなど昔ながらの手作りおもちゃ、イカダ川渡り・竹馬・ポニーの広場など、乗って・さわって・作ってと体験出来る、子ども達にとつて、新鮮で楽しい企画がありました。

最後まで、親子・子ども達が一生懸命に物を作ったり、遊んだりして、こどもまつりを盛り上げてくれました。



うまく出来るかな?



こっちは、こおるかな?

インリーダー研修会

今年の夏のインリーダー研修会を報告します。

岡崎市インリーダー研修会は岡崎ジュニアリーダーが、毎年夏と冬に開催するものです。参加者は市内の小学5・6年生56名です。

8月22日から24日までの3日間、岡崎市少年自然の家で「踊るノダイノそうさノ染」をテーマに開催されました。

班に分かれて自己紹介、夜はキャンプファイヤー、翌日は山の中をウォークラリー、午後は川で水遊びをして、あせを流し、その後は自分だけのTシャツ作り、みんな思い思いの図がらを考え、染めて出来上がり。出来上がりが楽しみであり、少し不安でも有るが、出来上がりを期待し翌日に。

そして染め上がったTシャツをみんなに見せ合い、班ごとに発表会を行った。

初日は、あまり声が出せなかった子も、最後は大声で叫んでいました。堅かった表情もどこへやら、笑顔が並んでいます。

子ども達も、ジュニアリーダーもひとつになつて、「大切なものは何か」を探した3日間でした。



ちょっと冷たい!

一年の思いを鐘の音にのせて

竜谷学区 桑谷子ども会 鈴木 功

ゴーン、ゴーン、大晦日の闇夜に響き渡る鐘の音、それは、子ども達の突く鐘の音でした。

桑谷子ども会は、市東部の緑豊かな山間に位置し、会員数も少子化のおおりに30名と少数ながら活動しています。

春先からのソフトボール、フットベースボールの練習にはじまり、夏のレクリエーション、秋祭りへのお神輿参加と、春・夏・秋の行事はあるのですが、これといった特色のある行事はありません。季節にあった行事のうち冬の行事が無いので、冬に出来る、また冬ならではの行事をと試行錯誤して行きました。そんな時、町内の児童公園で遊ぶ子どもから「あの鐘が突いてみたい」との一言。そう、児童公園横にお寺があり、お寺には鐘突堂がある。普段は誰も突くことが出来ない鐘。それなら「子ども達にこの鐘を突かせることができないか」と。お寺の住職に話したところ「除夜の鐘をあなた達で突きませんか？」とアドバイスをお願い。たゞ世話役にて企画しました。



企画したまではよいのですが、苦勞は尽きません。大晦日の夜は寒い、又夜遅く子ども達が起きていて集まるのか、不安の種はつきませんでした。当日は多くの親子が集まりました。



御住職による一突き鐘の音に始まり、順次子ども達へと進んでいきました。普段は突けない鐘を突ける喜び、又初めて突く鐘に失敗する子も続出しましたが二度三度突くうち、しだいに慣れ、鐘を突く目も真剣なまなざしに変わり鐘をついていました。また付き添って来た保護者も井戸端会議ならぬ鐘突堂会議を忘れ、子ども達に混じっての鐘突き、さらにお寺へお参りにきた方も一突きと、突く人の輪が順次広がっていききました。こうして緊張と興奮の鐘突き、も終わりを告げる打ち上げ花火の歓声のもと無事終了しました。一年の終わりと初めに、それぞれ思いを鐘の音に乗せ突いた鐘、日頃突くことのできない鐘。子ども達を含め私たちも貴重な体験が出来たと思います。また、この鐘突きがこれからの私たちの活動の一つとして、末永く続けることが今後の課題となるように思われます。

フットベースボールの東海ブロック大会に参加して

本宿学区 西町子ども会 鈴木 佳子

8月2日、フットの練習をはじめから一番の快晴に恵まれ、東海ブロック大会が開催されました。例年のような暑さ対策よりも雨対策におわれ、肌寒い日さえあった今年のフットですが、本宿学区東海ブロックといつもはの気候に戻り、フットの大会らしくなってくれました。

わが西町子ども会は、レギュラーメンバー10人すべてが6年生ということもあって本宿学区の中では優勝候補の一角で、子ども達も「今年は、最強チームだね」と口にしていました。そうそううまくいくのかなという心配をよそに、子ども達はがんばり無事ブロック大会に進むことができました。



正直な所、役員になるまで練習は時々のぞくだけ、大会当日も適当な時間に出かけて、応援するだけでしたが、今回一番初めから子ども達に付き添っていろいろ発見が

ありました。フットは、学校で部活動に関係なくチームが創られます。当然、日頃運動に縁のない子、苦手な子もいれば、バレー部の主力選手もいます。私の二女もバラスバンド部なので、はらはらして見ていました。



しかし、全くの杞憂でした。監督・コーチのお父さんたちの指導を真剣に聞き、皆一生懸命に練習しています。相手に威圧感を与える子は、3、4人ですが、他の子もその子なりに上達していききました。家では見ることのできない表情を、何度も目にすることができました。

結局、ブロック大会では目標の1勝を上げたものの、準優勝。つい欲も出ましたが、子ども達が大きく成長した夏でした。

ガンバレ四町チーム

六ツ美南部学区 定国子ども会 山野和明

5月上旬いよいよ第31回六ツ美南部学区子ども会球技大会の練習が始まりました。私は四町チームのフットベースボールの監督をやることになりました。

四町チームは、国正町、中村町、定国町、上羽角町で結成したチームです。男子のソフトボール、女子のフットベースボールは6年生から4年生まで共に20名の選手がいます。最初の頃は6年生や5年生の子ども達から去年の練習風景を聞きながら練習を行い、練習の最後には選手皆でドッジボールをやり和やかな雰囲気練習が始まりました。

練習も重ねていくうち選手のご父兄の方々のご指導を受け、また、フットベースボールルール講習会を受講し、少しずつフットベースボールの練習に近づいて来ました。



7月13日、小雨が降る中、境チームと練習試合を行い、結果はソフト、フットベース共に惨敗でした。7月20日で1回の練習



試合と9回の練習を無事終了することが出来ました。大会前日、メンバー表を作成しながら、選手一人ひとりの顔と名前がようやく覚えられるようになりました。

7月27日晴れ、大会当日予選リーグ、フットベースボールは一勝一敗と練習試合では惨敗した境チームに逆転勝ちし、健闘しましたが、失点が多く、予選リーグ3位で決勝トーナメント出場する事が出来ませんでした。ソフトボールは、予選リーグ2勝し決勝トーナメントは、練習試合で2対20と惨敗した境チームと対戦し、惜しくも2対6で3位になりました。

反省会は上羽角町公民館で、選手と役員でハンバーガーを食べ、楽しい1日を過ごすことが出来ました。

七夕会で、にじますのつかみ取り

六ツ美中部学区 福桶子ども会 杉浦哲二

くらがり溪谷の養殖場ですくわれて、ゆらりゆらり六ツ美中部の福桶町へやって来ました。直径2メートルのプールの中はとも気持ちよく、また回りに群がる子供たちの目はとても様々でした。きらきら輝いていたり、少しおつかない感じだったり、これからの真剣勝負が楽しみです。(そう簡単には捕まらないよ。でも少しやばいかな)いつの間にか子供たちの目は輝いていました。



今年の七夕会では虹鱈のつかみ取りにチャレンジ。最初は、気持ち悪い、魚は嫌いか、かわいそうとか(確かにそうだ)ブツブツ。魚が余ったらどうしようかと心配は育成者。私たちが子供のころ楽しかった事が通用するか、きつと面白いはずの勝負企画でした。

ゲームで色々を経験している子供たちも真剣に勝負してくる虹鱈たちには少々手こずっている様子。狩猟本能に目覚めて楽しんでに格闘していました。最後は塩焼きを見てほっとしました。きれいに食べてほしい。これもまたささぎでした。



子供たちが捕まえた虹鱈をさばく、そして塩焼きにと、とても手際よく協力頂きましたご父兄、平成会の皆様、またその後も花火、キャッチボール等、真剣に遊んでくれてどうもありがとうございました。

長い梅雨の気まぐれ、そして虹鱈たち。子供たちのいい思い出になったと思います。



岡崎市子ども会球技大会

第47回 優勝 宮地子ども会 生平子ども会

ソフトボール
フットベースボール

8月16日(土)に岡崎市中央総合公園運動広場において、恒例の岡崎市子ども会球技大会が開催されました。例年の真夏の暑い日差しはなく、大会開催も危ぶまれるような朝から小雨がけむる中での開会式でありました。市内8ブロック大会の代表がソフト・フットの優勝旗を我がものにしようと熱戦を繰り広げ、小雨もいつしか熱い応援・声援にかき消されてしまい、絶好のコンディションとなりました。優勝チームの喜びの声をインタビューしました。



ソフトボール

- 六ツ美西部学区 宮地子ども会
キャプテン 伊藤基樹君(6年)
- 優勝の感想は
ここまでこれるとは思いませんでした。優勝できてとってもうれしいです。
- 練習で楽しかったことは
いつも練習は、楽しかったです。
- 監督 井戸吉高

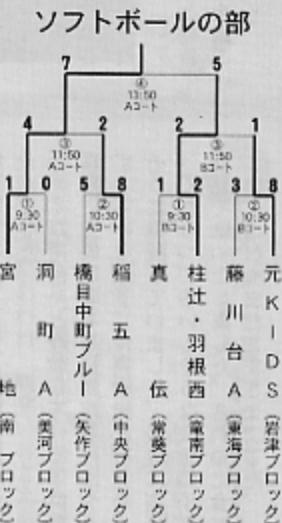
- 優勝の感想は
うれしいです。ここまでこれるとは思っていませんでした。子ども達のおかげです。最高です。
- いつ頃から練習を始めましたか
今年の3月位から、毎週土日に練習をしました。ただ、雨が多くてあまりできませんでした。どんな指導をしましたか



- 優勝の感想は
楽しくできました。毎日楽しかったです。
- 練習で楽しかったことは
楽しくできました。
- 監督(代行) 原田隆志

各市2チームの参加で4試合行いました。岡崎市は生平子ども会とA・I・S(広畑学区)の参加となりました。試合結果は岡崎市が1勝、安城市が3勝となり安城市の強さが際立ちました。子ども達は各自持参した恒例のメッセージ交換を行い、グラウンドで読みふけていました。これをきっかけにして交流の輪がどんどん大きくなってもらいたいものです。参加されました単子の役員さん暑い中ご苦労様でした。やっ

第47回岡崎市子ども会球技大会



年もこの場所に来たいと思います。

安城市フットベースボール 交流試合

9月7日(日)六南あのみ野運動広場(岡崎市定国町)において、第7回の安城市との交流試合を行いました。今年は岡崎市の当番となりました。当日は真夏を思わせる好天に恵まれます。残暑が非常に厳しい日となりました。

各市2チームの参加で4試合行いました。岡崎市は生平子ども会とA・I・S(広畑学区)の参加となりました。試合結果は岡崎市が1勝、安城市が3勝となり安城市の強さが際立ちました。子ども達は各自持参した恒例のメッセージ交換を行い、グラウンドで読みふけていました。これをきっかけにして交流の輪がどんどん大きくなってもらいたいものです。参加されました単子の役員さん暑い中ご苦労様でした。やっ